



志村学園

ともに、歩こう

校長 並木 信治

本日で、令和7年度の教育活動がすべて終了いたします。今年度も、本校への御理解、御協力を誠にありがとうございました。3月20日、71名の卒業生が晴れやかに羽ばたいていきました。三年間学びぬいた誇りを胸に、社会で活躍することを願ってやみません。



【卒業式校長式辞（一部のみ抜粋）】

就業技術科十一期生の皆さん、御卒業おめでとうございます。一人一人に卒業証書を手渡ししながら、皆さんとともに過ごした、学校生活の様々な場面が思い出され、たくましく成長した姿に心から感動しました。

三年間、皆さんは志村学園で、社会で生きていく力を、一つ一つ確かに身につけてきました。作業に向き合う姿勢、仲間と協力し合う姿、諦めずに挑戦し続ける心。そのすべてが、今日の皆さんを形づくっています。

さて、皆さんは「桜梅桃李」という言葉を知っていますか。「桜(さくら)」「梅(うめ)」「桃(もも)」「李(すもも)」の漢字四文字で「おうばいとうり」と読みます。桜は桜として、梅は梅として、桃は桃として、李は李として、それぞれが美しく咲く。人もまた同じで、誰もが自分だけの花を持ち、誰もが自分の咲き方をしてよいという意味です。

これから皆さんは、それぞれの道へ進みます。その道は決して同じではありません。歩く速さも違えば、悩むポイントも、喜ぶポイントも違うでしょう。しかし、違うからこそいいのです。違うからこそ、皆さんだけの「花」が咲くのです。立ち止まる時もあるでしょう。迷いが生じる時もあるかもしれない。しかし、どのような時であっても、どうか前を向いて、顔を上げて、自らの力を信じて歩いてください。顔を上げるその一瞬に、周囲の光が差し込み、皆さんを支える人々の存在に気づくことができるはずです。

一年生、二年生の皆さんにとっても、進級という学校生活の大きな節目となる年度末です。4月からの新たなステージを、私たち教職員も引き続きともに歩んでまいります。

新年度も、引き続き御理解、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

感謝

～ ありがとうございました ～

副校長 加部 務



春の訪れとともに、今年度も終わりを迎えようとしています。

1・2年生の皆さんは、いよいよ進級を迎えます。「継続は力なり」の校訓どおり、日々の小さな積み重ねを大切にしながら、一步一步着実に前へ進んでいってください。また、「凡事徹底」という言葉があります。あいさつをする、時間を守る、提出物をきちんと出す、そうした当たり前のことを、当たり前にやり続けることを大切に、周囲からの信頼される人になってください。皆さんの更なる成長と活躍を期待しています。そして、これからも応援しています。

保護者の皆様には、今年度も本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも、変わらぬ御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和七年度東京都立志村学園高等部就業技術科卒業式 第十一期生 答辞

第三学年主任 渡辺 史子

令和八年三月二十日（金）に、就業技術科の卒業式が行われ、第十一期生は社会に巣立っていきました。卒業生の答辞を紹介します。

答辞

桜のつぼみもふくらみ、しだいに春らしくなった今日、私たち十一期生七一名のためにこのような温かい卒業式を挙げていただき、心より感謝申し上げます。

3年前の春、私達は真新しい制服に身を包み志村学園に入学し、まだ知らぬ環境にたくさんの戸惑いや不安を抱えながら学校生活を送っていました。その日々の中で、先生方や先輩方から支えていただき、一步一步成長しながら今日の卒業式を迎えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

入学してから、江戸・東京ウォークや修学旅行など、様々な行事がありました。中でも、江戸東京ウォークが印象に残っています。「築地・六本木・赤坂」などを散策し、自分が知らない東京の初めて見る景色にとっても感動しました。

職業に関する教科では、志村学園でしか学べないことがたくさんありました。私は、体を動かす仕事がしたいと思い、流通都市・農園芸サービスコースで学びました。所属し、実際はお客様へのおもてなしが必要とされること・納期までに品質の良い商品を仕上げることや仲間とコミュニケーションを取りながら作業する大切にするを学ぶことができました。

コースの授業で多くのことを学びながら、進路実現できるよう現場実習を行いました。自分が何をやりたいか、実習を行うたびに悩みました。進路の先生が丁寧に自分の気持ちを聞いてくださり、そのおかげで、自分が何をやりたいか、しっかりと考えることができました。また、採用選考に向けて履歴書の準備ができるのか不安で焦る気持ちがありましたが、担任の先生が親身に一緒に考えてくださり、完成させ内定をいただくことができました。

部活動では、それぞれが自分のやりたいことに3年間打ち込みました。私は、農園芸部に入学し、3年生では副部長を務めました。農園芸部の中で一番大きな行事である「都庁花壇」では、作品を輝かせるために、マリーゴールドやビオラを種から丁寧に育てていきました。イメージした図案通りにするのは難しかったですが、朝から夕方まで部員全員で協力して行いました。私自身も率先して取り組み、その姿を後輩たちに見せて、作業を引き継いできたつもりです。完成したときにはとても達成感を得ることができました。

また、自分が好きな「柔道」に出会うきっかけを作ってくくださった先生方には、感謝の気持ちであふれています。社会人になっても継続していきたいと思えます。

志村学園で出会った方々の支えがあり、3年間を無事に過ごすことができました。経営企画室の方をはじめとする学校職員の方々。毎日、楽しい時も辛い時も、側にいて話を聞いてくださった先生方。そして、私たちにとって一番そばで支え、日々成長している姿を毎日笑顔で見守ってくれた保護者の皆様。卒業生一同心から感謝を申し上げます。

そして今日、私たちはこの学校を卒業し、それぞれの人生への第一歩を踏み出します。困難なことがあっても、この学校で学んだことを生かして、自分の力で大きく羽ばたいていきます。

第十一期生の皆さん、同じ空の下、どこかで私たちはいつも繋がっています。だから、前を向いて、これからも一緒に歩いていきましょう。

最後に、後輩の皆さん、これからは皆さんが志村学園の「継続は力なり」を引継ぎ、夢を実現するために挑戦し続けてください。皆さんのご活躍と、志村学園のさらなる発展を願い、答辞とさせていただきます。

令和八年三月二十日

卒業生代表 繁田 侑希

転任・退職等される先生方からのメッセージ

氏名	メッセージ
内田 浩二	志村学園では、6年間お世話になりました。授業や部活動などに一生懸命取り組み、成長していく姿を見守ることができてうれしかったです。うまくいかないと感じる時があっても大丈夫、結果を急がず、一歩ずつ歩んでいきましょう。
小木曾 美帆	3年間、大変お世話になりました。進路専任として、現場実習や就職にかかわり、私自身もいろいろなことを学ばせていただきました。志村学園の皆さんの「素直で明るく、元気な挨拶」は大きな武器です。この強みを生かして希望の進路実現を目指してください。
鈴木 健治	11年間お世話になりました。生徒の成長が、学年が上がるにつれ成果としてあらわれる場面を数多くみてきました。努力も大切ですが自分自身だけでなく周りの人、環境がそうさせてくれたと思います。ありがとうございました。更なる成長をお祈りいたします。
茶木 浩美	6年間大変お世話になりました。目標に向かって日々努力して成長する姿はとても眩しく、心から嬉しく思いました。皆さんと楽しい思い出がたくさんできました。本当にありがとうございました。これからも「ステキな大人」を目指す皆さんを応援しています！
八嶋 直子	6年間、食品加工コースに携わり、生徒たちと一緒に仕事をすることができました。「美味しい」と言っていただけで喜び、「また来ますね」の言葉に感謝する皆さんの姿が、私の働く原動力であり、温かい気持ちになりました。ありがとうございました。
大久保 衣純	3年間お世話になりました。志村学園では進路指導の担当として、就業体験・現場実習を通して皆さんの成長を見守ることができ嬉しく思います。楽しい3年間をありがとうございました。これからの皆さんの御活躍をお祈りいたします。
珊瑚 秀司	志村学園では約4年間楽しい日々を過ごさせていただきました。学校生活や授業、行事を通して皆さんの成長を見守れたことを嬉しく思います。更なる御活躍をお祈りしております。ありがとうございました。
中野 治美	6年間大変お世話になりました。授業や部活動、就業体験・現場実習を通じて、皆さんが目標に向かって努力し、最後まで諦めずに挑戦し続ける姿にいつも心を打たれていました。今後も皆さんのさらなる御成長と輝かしい御活躍を心から楽しみにしています。
松川 莉奈	授業や部活動を通して、壁にぶつかりながらも日々成長する皆さんの姿には、何度も励まされました。志村学園で過ごしてきた時間は、私の宝物です。本当にありがとうございました。皆さんの今後の更なる活躍に期待しています。